亲斤

是是

る方法として、直接表面を | るなど、いずれも難点があ

ョンならば数分から十分程

った。

物体の立体形状を取得す | 方法は装置が大がかりとな | で、通常のワークステーシ

ェースとして活用が期待できる。

ピューターシミュレーションで計算するなど、実世界とCG世界とのインターフ ックス)の世界に取り込める。粘土でデザインした航空機模型の空気抵抗をコン

大が新システム

型の方法にはシルエットを 使う方法があるが表面の い。また、レーザーを使う こんだ部分が認識できな その点の位置を求める方 転で描くらせん軌跡から、

と変形してしまう。非接触 かかるうえ表面が柔らかい 触るのが確実だが、時間が

は、物体表面上の各点が回

新しく開発したシステム

| データ化できた||写真は画

度ですべての表面上の点を

面位置データ)。 面(がい骨の貯金箱室と表

化石のように保存が難し

法。物体をターンテーブル さごとに百八十方向を調べ 円筒座標系の上で、高さと る。高さを四十等分、各高 求めれば正しい距離が決ま のどこが表面かを求める。 体の中心に回転軸を置いた に載せて、動画を撮影。物 って動くため、色の相関を 同じ色の点がその軌跡に沿 仮定した距離が正しければ 方位を決めて、その延長上 | ともあるが、シールを張る |別できず認識に失敗する なる。表面が白一色のよう | 入力装置として使える。 が | な場合には画素の違いが区 |から、計算機で脳の容量を |い骨の形状をデータ化して 記録用のほか、計算機への 様を付けられれば立体デー などして表面に若干でも模 求めるようなことが可能に いもののデータを保存する

跡から物体表面の立体データを取得する技術を開発した。物体がターンテーブル 上で回転すれば、容易に立体の形状を求められ、CG(コンピューターグラフィ 樹氏らは、ターンテーブルに物体を載せてビデオカメラで撮影し、各点の描く軌 東京工業大学大学院情報理工学研究科の奥富正敏助教授、大学院学生の杉本茂 )Gへ取込み活用期待 四号炉で事故が発生、大 その七年後の八六年四 ルノブイリ原子力発電所 月、今度は旧ソ連のチェ される事故が発生した。 性物質が外部環境に放出 ル島原子力発電所二号炉 ルベニア州のスリーマイ (TMI―2) で、放射 七九年三月、米ペンシ

力発電所の包括的な安全

θ

## 東京電力

る。当時の原子力開発研

り組みの原点は、TMI

ファクターへの体系的取

東京電力のヒューマン

性が広く認識されるよう ーマンファクターの重要 性を確保する上で、ヒュ

になった。

から五年後の八四年であ

ヒューマンファクターグループ 技術開発本部原子力研究所

84年には研究スター

とと比較すると、その取 せたのが九二年だったこ

内

力が類似の組織を発足さ

京電

合

したのが八九年、関西電

人的因子研究室を設立



量の放射性物質が周辺環

境に飛び散った。 けに、日本国内でも原子 がプラントの状態を正し が主因だとされている。 しの二つの事件をきっか /理解できなかったこと いずれの事故も運転員 七年、日本原子力研究所 ーの研究をスタートさせ ンターを設立したのが八 ーマンファクター研究セ してヒューマンファクタ 電力中央研究所がヒュ

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

実験

環境の充実で体制

型原子炉)の共同研究と 究所が、BWR(沸騰水 を強化するために原子力 り組みの早さがわかる。 九一年には、研究体制

研究所にヒューマンファ クター研究室を設置。

ーマンファクターグルー プに改組、現在に至って ャー制導入に伴い、ヒュ 七年のグループマネージ

どの研究機関か機関に所属 や大学、特殊法人、財団な なくとも国公立の研究機関

申し込みは九月三十日ま

で支払うが、残り半分は売

委託開発事業の特例枠

た。半径を千等分した場合

ータの採取が可能になる。

課 題 と実施 企業を募集

JST

い已だ可ナ区斉た牛爰口

半分については五年または 減される り、開発企業のリスクが軽 成功の場合でも、開発費の 八年以内の年賦(無利子) 今回新設した特例枠は、 行い、技術の所有者には少 などが条件。 する人が含まれていること

自動車をターンテーブルで一が、ターンテーブルに載り一なものでも使用できる。 モーターショーなどでは | 回している様子が見られる | さえすれば基本的にはどん | 賀